

やすらぎ通信

第77号（平成29年4月1日） 発行：大阪急性期・総合医療センター

卯月(うづき)



(大阪府和泉市・和泉環境リサイクル公園(菜の花))

<目次>

季節を愛でる	・・・P.1
今月・来月の催し	・・・P.2
今後のイベント予定	・・・P.4
今月のきらりさん	・・・P.7
管理栄養士のコーナー	・・・p.8

NEWS	・・・P.9
掲示板	・・・P.10
地域の医療機関の皆様へ	・・・P.13
今月の風景	・・・P.14
編集後記	・・・P.14

花々にあふれる4月となりました。中でも、桜の花を待ち望んでおられた方は多いのではないのでしょうか。病院の向いにある万領中央公園では、毎年、見事な桜の花を楽しむことが出来ます。休憩時間には、多くの職員が桜の下で過ごします。入職したばかりの新しい仲間を囲んでお弁当を食べたり、写真撮影をしたりと、公園は笑顔であふれます。療養中の患者さんやご家族とご一緒することもあります。桜の花が咲くころに吹く暖かな南風を「桜まじ」と言いますが、この風が吹いている間は、穏やかな晴天が続き、お花見には絶好の日和となるのです。桜まじと淡いピンクの花の色が、人々の心を和ませ、結び付けてくれる花笑みの季節の到来です。

桜のお花見は平安時代が起源だそうですが、この頃はヤマザクラが主流でした。ヤマザクラは、赤い若葉と白い花びらが特徴ですが、これを春霞のたゆたう中で遠くから眺めると、現在の私たちが眺めるソメイヨシノと同じく、淡いピンク色に見えたのかもしれませんが。桜色とは、いにしえより変わらず、淡いピンク色なのだそうです。宮中の人々がヤマザクラを愛でる様子は『源氏物語』などにも描かれていますが、一般庶民に広まったのは、江戸時代になってからのようです。

ところで、お花見には甘味がつきものですが、皆さまはどのようなお菓子が好きでしょうか。私は桜餅が大好きなのです。冒頭にご紹介した俳句の作者である久保田万太郎は、大正から昭和にかけて活躍された俳人で、小説家、劇作家でもあった方ですが、「桜餅」を季語に用いた俳句をいくつも残しておられます。中でもこの句は、桜餅を取り分ける際に感じる、桜餅特有の香りをも味わうことのできる句です。餅の甘い香りの中に、さわやかな桜葉の香りが融合しているあの香りです。「葉のぬれてあるいとしさや桜餅」という句もまた、朝生菓子である桜餅の、しっとりとした質感までもが伝わってきます。久保田万太郎もきっと、私と同じく桜餅がお好きだったに違いないと想像いたします。生粋の江戸っ子であった久保田万太郎が口にされていた桜餅は、小麦粉などで皮を焼いて作る関東風のもので、関西のそれとは異なるのですが、桜葉の香りや質感は共感できるものです。

桜餅は、病院敷地内に出店されているローソンでも販売されているのですが、今年は包装に「桜もち誕生300年」と印字されています。1717年に江戸向島の長命寺で塩漬けの桜の葉を使った餅菓子が誕生したのが桜餅の始まりのようです。同じ年に、将軍吉宗の台命により隅田川沿いに桜木の植栽が行われたとのことですので、この後お花見の賑わいととも、桜餅は広く知られるようになったのでしょう。大坂では道明寺で道明寺粉（水に浸し蒸したもち米を干して粗めにひいたもの）を用いて作られるようになり、花時にふさわしいお菓子となりました。

万領中央公園の桜が満開になると、また、新たな楽しみが生まれます。夜の花明りです。仕事の疲れを癒してくれる特効薬です。「サクラサク」。積み重ねる努力が、いつか花開くであろうことを確信させてくれる希望に満ちた季節です。



今月・来月の催し

【第23回病院ギャラリー企画展 『大阪版画コレクション展』】

開催期間 3月13日(月)～6月16日(金)

展示場所 本館2階 病院ギャラリー

展示作品 版画24作品

本企画展は、大阪府立江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施しています。



【相愛大学連携 第69回 外来糖尿病教室

知って得する！糖尿病との付き合い方】

日時 4月19日(水) 午後2時～3時

場所 本館1階 アトリウム

内容 あなたの24時間の血糖値推移が簡単にわかります。

～新しいCGM(持続血糖モニター)について～

糖尿病内分泌内科主任部長 馬屋原 豊

ブドウ糖の大冒険 糖尿病看護認定看護師 後藤 博美

自分の食生活を振り返ろう 管理栄養士 笠井 香織

参加費 無料



【第45回 万代・夢寄席「桂かい枝独演会」】

日時 4月19日(水) 午後2時～3時

場所 本館3階 講堂

出演 桂 かい枝 氏

入場料 無料



【すこやかセミナー「聴こえのしくみと難聴治療」】

日時 4月28日(金) 午前11時～12時

場所 本館3階 講堂

講師 耳鼻咽喉・頭頸部外科主任部長 宇野 敦彦

参加費 無料



【第24回 看護の日のイベント「心も体も健康に！」

～これであなたもパーフェクトヒューマン～

開催日 5月10日（水）

内容 第1部：午前10時～11時30分

本館1階アトリウム：アロマハンドマッサージ

本館2階8番外来前：骨密度測定

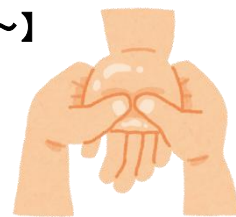
※第1部は、受付人数多数の場合、受付を終了させていただく
ことがございます。ご了承ください。

第2部：午後2時～3時30分

本館3階 講堂：大道芸・健康体操・健康クイズ

看護師長によるコーラス

参加費 無料



【すこやかセミナー「認知症を予防しよう！」】

日時 5月11日（木） 午後2時～3時

場所 本館3階 講堂

講師 神経内科部長 深田 慶

参加費 無料



【第9回 リウマチ教室】

日時 5月23日（火） 午後2時～4時

場所 本館3階 講堂

内容 リウマチの治療～妊娠中を含めて～

免疫リウマチ科主任部長

関節リウマチ・バイオサポートセンター長 藤原 弘士

リウマチとお金～介護保険と高額療養費について～

医療ソーシャルワーカー 伊達 加恵

日常生活をもっと快適に！～作業療法士が教えるコツ～

作業療法士 池埜 弥生

参加費 無料



【相愛大学連携 第70回 外来糖尿病教室

知って得する！糖尿病との付き合い方



日時 5月23日(火) 午後2時～3時
 場所 本館1階 アトリウム
 内容 糖尿病教育入院について

糖尿病内分泌内科副部長 藤木 典隆
 低血糖について 薬剤師 川下 絵梨香
 おいしい減塩食 相愛大学講師 岸田 由岐 氏
 参加費 無料

**【すこやかセミナー「日常のスキンケアを見直してみませんか
 ～お肌をスベスベにしましょう！～】**



日時 5月26日(金) 午前11時～12時
 場所 本館3階 講堂
 講師 皮膚・排泄ケア認定看護師 中西 恵美
 参加費 無料

今後のイベント予定

《万代・夢寄席》

万代・夢寄席では、落語や講談、太神楽といった日本の古典芸能がお楽しみいただけます。多くの方に笑う事で元気になっていただくことを目的として開催しています。



時間：午後2時～3時

場所：本館3階 講堂

	日程	出演者
2017年	4月19日(水)	桂かい枝氏
	6月5日(月)	旭堂小南陵氏
	7月中旬予定	豊来家玉之助氏
	7月31日(月)	三代目桂春団治一門会(出演者未定)
	9月8日(金)	桂かい枝氏
	11月8日(水)	旭堂小南陵氏
2018年	1月上旬予定	豊来家玉之助氏
	2月中旬予定	三代目桂春団治一門会(出演者未定)

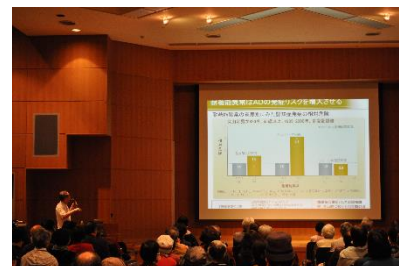
《すこやかセミナー》

すこやかセミナーは府民の皆様を対象としたセミナーです。
当センター医師や医療従事者が講師となって、医療や健康に
まつわる役立つ情報をお届けしています。



日程、場所	時間	テーマ	所属	演者
4月28日(金) 講堂	午前11時 ～12時	聴こえのしくみと難聴治療	耳鼻咽喉・頭頸部外科 主任部長	宇野敦彦
5月11日(木) 講堂	午後2時 ～3時	認知症を予防しよう！	神経内科 部長	深田 慶
5月26日(金) 講堂	午前11時 ～12時	日常のスキンケアを見直して みませんか～お肌をスベスベ にしましょう！～	皮膚・排泄ケア認定 看護師	中西恵美
6月8日(木) 講堂	午後2時 ～3時	人は血管とともに老いる ～動脈瘤ってどんな病気？～	心臓血管外科 主任部長	白川幸俊
6月23日(金) 講堂	午前11時 ～12時	膠原病の基礎知識	免疫リウマチ科 診療主任	吉田祐志
7月13日(木) 保健教室	午後2時 ～3時	脳の病気やケガによる 『高次脳機能障がい』をご存 じですか？	リハビリテーション科 副部長	山中 緑
7月28日(金) 講堂	午前11時 ～12時	未定	腎臓・高血圧内科	未定
8月25日(金) 講堂	午前11時 ～12時	未定	脳神経外科 副部長	西口充久
9月14日(木) 講堂	午後2時 ～3時	未定	消化器内科	未定
9月22日(金) 講堂	午前11時 ～12時	腰痛のリハビリテーション ～予防と改善の基本～	医療技術部	山田保隆

～開催風景～



《相愛大学連携 外来糖尿病教室》

外来糖尿病教室は当センターと相愛大学が連携して開催している、府民の皆様を対象としたセミナーです。糖尿病の治療に関する知識、薬や食事の注意点など、糖尿病に関する最新情報をお伝えしています。



時間：午後 2 時～3 時

場所：本館 1 階アトリウム

日程	テーマ	所属	演者
4 月 19 日(水)	あなたの 24 時間の血糖値推移が簡単にわかります。～新しい CGM(持続血糖モニター)について～	糖尿病内分泌内科 主任部長	馬屋原 豊
	ブドウ糖の大冒険	糖尿病看護認定 看護師	後藤 博美
	自分の食生活を振り返ろう	栄養管理室 管理栄養士	笠井 香織
5 月 23 日(火)	糖尿病教育入院について	糖尿病内分泌内科 副部長	藤木 典隆
	低血糖について	薬局 薬剤師	川下絵梨香
	おいしい減塩食	相愛大学 講師	岸田由岐 氏
6 月 21 日(水)	糖尿病の飲み薬 ～いろいろあるけど、わかりますか?～	糖尿病内分泌内科 診療主任	藤田 洋平
	頸動脈エコーの話	検査科 臨床検査技師	藤田 武
	気をつけたい外食	栄養管理室 管理栄養士	隈元 理香
7 月 26 日(水)	糖尿病の薬 ～体調が悪い時の対応について～	糖尿病内分泌内科 医師	畑 雅久
	運動療法について	リハビリテーション科 理学療法士	長島健太郎
	やさい!!	栄養管理室 管理栄養士	笠井 香織
9 月 20 日(水)	糖質制限って実際どうなの? そこんどこ、教えます。	糖尿病内分泌内科 医師	藤川 慧
	あなたの足は大丈夫? フットケアについて	糖尿病看護認定 看護師	後藤 博美
	にく!!	相愛大学 准教授	竹山育子 氏

《相愛大学連携コンサート》

時間：午後2時～3時 場所：本館3階 講堂

日程（時間は全て午後2時～3時）		
2017年	第53回	5月24日（水）
	第54回	6月27日（火）
	第55回	8月23日（水）
	第56回	10月19日（木）
	第57回	12月21日（木）
2018年	第58回	1月25日（木）
	第59回	3月14日（水）

相愛大学の学生さんや卒業生の方による音楽コンサートです。コンサート内容につきましては、毎月のやすらぎ通信に掲載いたします。



今月のきらりさん

自分の持ち味を生かした看護、すなわち“きらりと光る看護”を行っている当センターの看護師さんを紹介させていただくコーナーです。

9階西病棟 神田陽子看護師長

私が勤務する9階西病棟は、耳鼻咽喉・頭頸部外科と救急診療科の混合病棟です。昨年度HCU（ハイケアユニット）4床がリニューアルしました。9階西病棟の患者さんは、侵襲が大きい外傷や術式により様々な機能障害を抱えておられる方が多いです。ご家族も含めて様々な悩みや思いを秘められています。より早期に回復され社会復帰をしていただけますように、医師・セラピスト・社会福祉士など他職種とともに定期的にカンファレンスを開き、連携を密にして患者さんにご家族を支援できるような体制をとっています。看護師は師長の私を含めて32名、うちナースマンが5名です。摂食・嚥下障害看護認定看護師や栄養サポートチーム専門療法士など、9階西病棟の患者さんに必要な専門的な知識、技術を備えたスタッフも所属しており、根拠に基づいた看護を提供できるように皆で学習を重ねています。9階西病棟の看護師のアピールポイントは「明るい笑顔と元気」です。よく患者さん、ご家族から「看護師さんの笑顔を見ると元気が出る。」とお褒めのお言葉を頂き、それを励みに看護師一同日々頑張っています。



管理栄養士のコーナー

~ちょっとおいしい話~

春野菜のふきの煮物をご紹介します。



《材料》	(1人分)	(2人分)
厚揚げ	60 g (1個)	120 g (2個)
ふき	50 g	100 g
出し汁	100 ml	200 ml
みりん	大きじ 1/2 杯	大きじ 1 杯
淡口しょうゆ	大きじ 1/2 杯	大きじ 1 杯



(1人前) エネルギー：120kcal たんぱく質：7.1g 脂質：6.8g 食塩相当量：1.4g

- ① ふきの葉の部分は切り捨て、茎の部分は鍋につかるくらいの長さに切る。
- ② ふきに軽く塩をふってまな板の上で手のひらで転がして板ずりすることで茹で上がりの色がよくなります。塩分のことが気になる方は板ずりしなくても、茹ですぎないようにするときれいに茹で上がります。
- ③ 茎の下のほうから熱湯に入れて茹でる。茹でたら4-5cm長さに切る。
- ④ 厚揚げはざるにのせて熱湯をかけて油抜きをして、味がしみやすいように3つに切る。
- ⑤ 出し汁、みりんを煮立て、煮立ったら中火にしてふきを入れ、蓋をして1-2分経ったら淡口しょうゆを入れて落とし蓋をする。
- ⑥ 1分ほどしてふきに味がしみ込んだら、厚揚げを入れて弱火にして1分ほどで火を消して余熱でさらに味をしみ込ませる。

ふきは1束全部を煮物にしてもいいですが、茹でたふき半分ほどを冷まして、斜め切りにしてサラダにしたり、2-3cm長さに切ってみそ汁に入れたり、するとふきのシャキシャキした食感が食欲増進にもなります。

また、厚揚げを入れる前に味のしみたふきを数本取り出して、長さ1cmほど切ったけのこと一緒にちらし寿司に入れると春らしさが一段と際立ちます。



管理栄養士 伊藤 晶

NEWS

【当センターの名称を変更しました！】

当センターは、平成 29 年 4 月より「大阪府立急性期・総合医療センター」から「地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター」へ病院名称を変更しました。

なお、現在ご使用の診察券は、引き続きご利用いただけます。

【面会時間を変更しました！】

平成 29 年 4 月 1 日より、一般病棟の面会時間を下記の通り変更しました。

面会の方は、病棟ナースステーションにて面会カードをご記入ください。

病棟	変更前		変更後	
	曜日	面会時間	曜日	面会時間
下記以外の病棟	月曜日～金曜日	午後 3 時～午後 7 時	平日・休日	正午～午後 8 時
	土曜日・日曜日・祝日	午後 1 時～午後 7 時		
小児病棟 (5 階東)	平日・休日	午後 3 時～午後 7 時	変更なし	
産婦人科病棟 (5 階西)				
救急病棟 (1 階)		午後 1 時～午後 3 時		
ICU・CCU・SCU	面会を制限していますので、直接お問い合わせください。			

【肝がん治療センターとパーキンソン病治療センターを開設しました】

当センターでは、チーム医療を展開する機能的機関として、高度医療センターを設置しております。平成 29 年 4 月より、国指定がん診療連携拠点病院として、いっそう高度な治療が提供できるよう、肝がん治療センターを開設しました。また、難病医療拠点病院として、パーキンソン病に対する包括的医療を提供するため、パーキンソン病治療センターを開設しました。

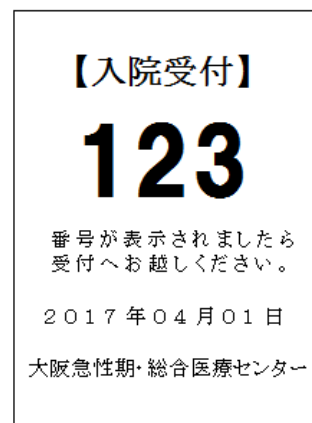
【患者相談窓口・入院受付・証明書発行窓口の改善について】

平成 29 年 4 月より本館 1 階の患者総合相談・入院受付・証明書発行の受付にて、番号案内表示システムの運用を始めます。ご相談、入院の受付、診断書の申し込み

等のご用の方は、発券機にて受付番号札をお取りいただき、お待ちください。受付の上部に番号を表示するとともに、音声にて順次ご案内いたします。



イメージ図 1



イメージ図 2

【公共交通機関ご利用のお願い】

大阪府市共同住吉母子医療センター（仮称）の建設工事に伴い、南側平面駐車場を閉鎖し、中央館南側の立体駐車場及び北側駐車場をご利用いただいております。

駐車スペースが限られるため、入庫するまでに時間がかかる場合があります。

大変ご不便をおかけいたしますが、来院の際には余裕をもってお越しいただくか、公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

(URL) <http://www.gh.opho.jp/access.html>

掲示板

【ボランティア活動のお知らせ】

当センターでは、採血室受付や図書コーナー、入院時の病棟への案内、看護学生のボランティアやクリニック라운の訪問を受け入れるとともに、リハビリ病棟の長期入院患者さんを対象に、ハンドマッサージ（大阪府鍼灸マッサージ師会の協力）や理髪ボランティア（近隣理髪店の協力）、ピアサポートを実施しています。また、看護学生や保育学生が話し相手や遊び相手のボランティアをしています。

これらの活動状況は、当センターホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。また、ボランティアを随時募集していますので、お問い合わせください。

(URL) <http://www.gh.opho.jp/recruit/10.html>

【「急性期・総合医療センターの最新治療がわかる本」と

「当センターの60周年記念動画」をホームページで公開しています！】

平成26年春、府民の皆さま向けに当センターで行われている最新治療を紹介した書籍を出版しましたが、一部を時点修正し、当センターホームページからすべての内容をご覧いただけるようにしています。

当センターの医師や看護師らが、分かりやすく、簡潔に、しかも必要な情報はきちんと把握できるよう執筆しています。いわゆる医学書や診療ガイドブックではなく、健康なときから病気にかかったときまで、府民の皆さまがよりよい治療を選択する際に役立つ健康情報を掲載しています。ご活用いただければ幸いです。

また、当センターは平成27年で創立60周年を迎えました。これを記念して作成した動画も公開しています。当センターの沿革や概要、治療方針などを分かり易く紹介しています。是非ご覧ください。

いずれもトップページ下部からご覧いただけます。

(URL) <http://www.gh.opho.jp/>

【「医療相談」コールセンターのご利用を ～地域医療連携センター～】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談に、看護師が電話で応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号 06-6692-2800 (専用電話回線)

06-6692-2801 (専用電話回線)

相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

(年末年始、土・日・祝日除く)

相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等

相談員 看護師

【診察予約変更センター 9診療科において

診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非、積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意ください。ますようお願いいたします。

電話番号 06-6692-1201(代表)にダイヤルして
「予約変更センター」と言ってください。
受付時間 午後3時～午後5時(平日のみ)
対象診療科 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病内分泌内科
皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科
神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

【入院治療費や外来での検査費用の

概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターでは、入退院センターにおきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用、医療・福祉相談コーナーなどでCT、MRI、RI、エコー検査など検査の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。

なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

【Facebook ページ開設のお知らせ】

当センターでは、公式 Facebook ページを開設しております。Facebook のアカウントをお持ちでない方でも、ご覧いただけます。

(URL) <https://www.facebook.com/osakageneralmedicalcenter>

※スマートフォンでご覧になる場合は、右のQRコードをご利用ください。



【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪急性期・総合医療センター」にて可能です。

【消化器外科の診療のご案内】

消化器外科は国指定地域がん診療連携拠点病院として、低侵襲鏡視下手術・機能温存手術から術前化学療法後の拡大手術まで幅広い外科的選択肢を有しており、あらゆる消化器外科疾患に開胸・開腹・胸腹部の鏡視下手術とも対応致します。大腸癌を対象としたロボット手術も受けて頂くことが出来ます。

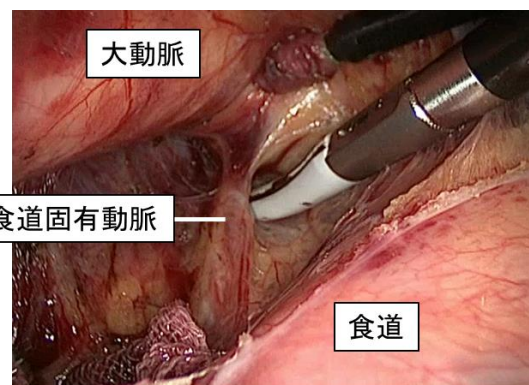
「手術数でわかるいい病院 2016(週刊朝日 MOOK)」で、昨年に引き続き近畿地区において、食道癌 14 位、胃癌 9 位、大腸癌 15 位、肝胆膵癌 25 位にランキングされました。

各領域の紹介をします。

■上部消化管

藤谷・本告・中塚が担当しています。胃癌はもとより食道癌に対しても手術の侵襲を小さくするために積極的に胸腔鏡・腹腔鏡下手術を行い、術中に腸瘻（栄養を直接小腸に投与するルート）を造設し術後の栄養管理にも万全を期しています。

胸腔鏡下食道切除術



■下部消化管

昨年4月から阪大の人事異動に伴い、小森・團野・宮崎が担当しています。難関とされる日本内視鏡外科学会の技術認定医（大腸）2名が在籍し、質の高い腹腔鏡下大腸手術を提供することを使命に、大腸癌手術180例の内80%を腹腔鏡で行っています。

■肝胆膵

昨年4月から阪大の人事異動に伴い、前福島県立医大外科教授である後藤総長・岩瀬副院長・柏崎が担当しており、全員が日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医資格を持つ経験豊かなチームです。本年4月からは更にスタッフ医1名が増員されます。①急性胆嚢炎に対する緊急腹腔鏡下胆嚢摘出術、②腹腔鏡下肝切除・膵切除術、③血管合併切除再建を伴う高難度手術、④進行癌に対する術前化学療法に重点的に取り組んでいます。

■抗がん剤治療

他の施設では受けられない新規分子標的薬や今話題の免疫チェックポイント阻害剤を用いた治療を、治験として受けて頂くことができます。

消化器外科主任部長 藤谷 和正

今月の風景



【コメント】

竜王公園から一望できる広島市街地。この日は残念ながら霞んでいましたが、高い場所からの景色を眺めていると、明日からまた頑張ろう！という気持ちになります。

(山根 智和 氏 撮影「竜王公園から眺める広島市街地」
(撮影地：広島市西区竜王町))

編集後記

先月に続き和泉リサイクル環境公園より、今月は「菜の花」の春の訪れを感じさせてくれる一枚が撮れました。花や緑を見ていると、嫌なことや悩んでいることを忘れてのんびりとした時間が流れ、心が癒されました。

また、先月終了した「喫茶室」に替わり、今月より「季節を愛でる」を始めました。四季折々のお話をお届けいたしますので、お楽しみいただくと幸いです。

<お願い>

読者の皆様からも、今後の表紙と「今月の風景」を飾る写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただける方は下記宛先までお送りください。

【宛先】 kyuseisogo@opho.jp

【注意事項】

- ・投稿写真はご自分で撮影したオリジナルの作品に限ります。
- ・タイトル、撮影日時、場所についてのコメントをメール本文に記載ください。
- ・作品は著作権、肖像権を侵害するおそれのないものに限ります。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。